

『温泉科学の新展開』

編集：日本温泉科学会 大沢信二

出版社：ナカニシヤ出版

出版年月：平成18（2006）年8月10日

体裁：B6版 247頁

ISBN：4-7795-0065-6

価格：2000円＋税

本書は好評であった『温泉科学の最前線』につづく第2弾で、温泉を科学的に知りたい温泉愛好家や学生などのための温泉科学入門書です。本書は学会の中堅・若手10名の執筆者によるオムニバス形式で、各章は完結しており、どこからでも読むことができます。内容構成は次の通りです。

1) 首都圏の大深度温泉、2) 温泉スケール対策－温泉スケールをどうふせぐか－、3) 酸性硫酸塩泉ができる仕組み、4) 噴気孔ガスの形成機構、5) 温泉からみる火山活動、6) 間欠泉の発生と消滅のメカニズム、7) 別府温泉は何歳か？－別府地熱系の年齢と熱水の起源－、8) 温泉沈殿物から温泉の変遷過程をたどる、9) 流体包有物からわかる熱水活動史、10) 温泉の医療人類学的研究、という構成です。

本書は大深度温泉、火山に関係する酸性泉、噴気ガスの形成機構、火山噴火と温泉、温泉の噴出である間欠泉、別府温泉の形成年代などをテーマとする、温泉に関わる地球科学を中心としたものの他、温泉が湧出するときの温度低下による温泉沈殿物（スケール）対策などの温泉管理や、温泉と健康医学・文化人類学に関するユニークな研究など、幅広い分野にまたがる入門書である。本書は温泉科学や地球科学を目指す学生など若い世代の人たちのみならず、広く一般の社会人にとっても温泉科学のおもしろさの一端を知ることができる一冊である。

